

第 28 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 3 月 4 日（木曜）		午前 9 時 30 分 開会
	休 憩 10:30-10:45、		
会議場所	役場 3 階 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長	梶澤 幸治	委員 立川 美穂
	副委員長	中村 和宏	委員 渡辺洋一郎
	委員	正村紀美子	委員 常通 直人
	委員	鈴木 健充	
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	総務係長 佐藤 史彦	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 協議事項

- ア 3月定例会議における一般質問について
- イ 議会だより 3月号について
- ウ 議会だより 4月号の編集企画について
- エ 令和2年度議会費補正予算（案）について
- オ R2年度活性化策の取組み状況について
- カ 第1回議会モニター会議の振り返りについて
- キ 読みたくなる議会だよりについて

当日資料 1

当日資料 2

資料 3

資料 4

資料 5

資料 6

資料 7

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件 (1) 調査事項

- ア 3月定例会議における一般質問について

当日資料 1

- ・中村委員：資料説明。
- ・委員長：説明の通り、一般質問は5人で、17日に5人、18日は休会として、取り進めたいが、質疑はあるか。

(質疑なし)

- ・委員長：以上で決定する。

イ 議会だより 3月号について

当日資料2

- ・立川委員：資料説明。校了日は明日である。本日中に校正原稿を共有したい。
- ・委員長：お気づきの点があれば事務局へ。

ウ 議会だより 4月号の編集企画について

資料3

- ・立川委員：資料説明。校了は4月5日。発行日は4月12日。一般質問その後に関する情報があれば提供をいただきたい。
- ・委員長：全体とおして意見はあるか。

(意見無し)

- ・委員長：報告の内容で進める。

エ 令和2年度議会費補正予算(案)について

資料4

- ・総務係長：予算案資料説明。
- ・委員長：今年度予定の事業が出来なかったものがある。質疑はあるか。

(質疑無し)

- ・委員長：説明の内容で補正していく。

オ R2年度活性化策の取組み状況について

資料5

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：7つの活性化策を一つ一つ確認していきたい。年度内に行うべきこと、次年度に繋げる事項、あるいはプラスしていく事項、今年度をもって終えるじぎょうなどあるかと思う。まず①の議会図書室機能の整備は一定の取組み成果が出ていると思うが。
- ・正村委員：令和2年度の議会図書室の管理要領策定、庁舎移転後にも展示を行っているところ。改善すべき点はあるかと思うが、現段階では達成したと考えて良いのでは。

- ・委員長：同様の考えで良いか。

(異議無し)

- ・委員長：次年度については、活性化策から外すこととしていくこととしたい。

(異議無し)

- ・委員長：次に②の町民意見の明確化について。これは議会だよりの改善・研究として進めてきているところであるが。今まさに改善に向けた議論をしているところである。今年度は残り2カ月、渡辺委員を中心にまとめをしているところ。全議員で協議しながら今後進めていかななくてはならないと思うが。

- ・常通委員：資料のとおりのもので良い。

- ・委員長：確認であるが、資料のとおりということは、年度内は議会だよりの改善・研究を行うという意味で良いか。

- ・常通委員：年度内に方向性が出る形で、精力的に協議が出来ればと。
- ・委員長：年度内は議会だよりの改善・研究を継続することとして良いか。
- ・正村委員：現在、議会だよりの改善：研究は途中であるので年度内に一定の方向を出していくのが第一かと。そして、住民参加の促進の部分であるが、一定程度改善研究の方向が整ったときに、ここの部分が合致するのか、というところは、再度協議すべき。実際に、様々な意見が議会だよりにはあったわけで、現状から大きく外れるのは難しいのではないかという意見が大半であったかと思う。その中で住民参加の促進というところへの位置づけを確認していき、それを終えてから次年度、どうしていくかという協議をしていくことが望ましい。
- ・委員長：今の意見、議会だより以外の部分に繋がる点であるが、現状としては議会だよりの改善に絞って進めているところであるが、年度内には、改善の方向性を出していくこと、その後、どうしていくか。次年度以降につなげていくような事項なのかどうか。議会だより以外のツールを見える化につなげていくのは、今後の議論にもなるが。
- ・委員長：次年度の活性化策は別途協議をしなくてはならないと考える。今年度の取り組みをどうしていくかというところであるが。
- ・中村委員：現状の確認ということであれば、議会だよりについてはモニター会議でも意見を聴きながら進めている。今、一步踏み出そうとしているところで、方向性は今後見出していくこと。町民にいかに見せていくかということは、その後のことである。
- ・渡辺委員：町民活動支援センターまつりへの参加検討があった。コロナで難しくなったが、そこでは、町民意見をどのように検討されているのかというところを展示しようとしていた。コロナの中で難しいが、まずは、アンケートに基づき議会だよりの改善しようというところであるので、内容を充実しながら、いただいた意見をどのように政策に反映していくかというところを、今後盛り込んでいけるかということ。
- ・委員長：今年度はアンケート結果を受けて議会だよりが認識度の高いツールであることから重点的に研究しようということで、今に至っている。渡辺委員の意見にあるような他のイベントへの参加などは別途検討しなくてはならない。議会だよりの改善・研究は年度内に一定の方向性を出していくが、他の事項では今後も引き続き検討していくべきこともある。活性化策の②、③は非常に重要で、継続的に課題としていく必要があるものと考える。
- ・中村委員：今の委員長のまとめで良い。
- ・委員長：次に③の情報提供と説明の充実について。
- ・立川委員：この項目はさらに発展させていく必要がある項目であるが、今年度はこれまでにない手法をもって実施し、多様な住民参加を図ってきたのではないかと。ただ、さらに今後も研究が必要な項目であると考えている。
- ・委員長：今年度としては取り組みが出来てきたのではないかと。また、継続して議論が必要にもなってくる。目指す姿に掲げているように、町民の視野を広げ深い議論ができるように、さらに発展させていくこととしたい。

・委員長：次に④ICTの継続的な活用について。HPの更新に向けた作業であったが、ある程度達成できたのではないかと。今年度中にやるべきことは無いかと思うが。

(異議無し)

・委員長：次に⑤議会モニター制度の機能拡充について。オンライン会議なども行なってきた今年度であった。公募方法の改善、会議の開催手法の改善がポイントであった。無作為抽出から2人のモニターが生まれたことから、一定の改善に繋がったのではないかと。またコロナの中でオンライン会議を開催したことで、開催手法の改善は一定の達成がされたのではないかと思うが。年度内に行うべきことがあれば。

(意見無し)

・委員長：モニター公募の改善については課題である。全議員に情報共有しながら選定に向けていきたい。

・委員長：次に⑥町民との意見交換の改善。今回はオンライン、リアル、書面などアイデアを絞りながら開催できたと考える。今後は、平常時における開催手法の検討について、オンラインも有効ではないかとも思う。今年度の取り組みとしてはある程度達成されたのではないかと。

・常通委員：コロナの中で意見交換を中止することなく開催できたことは評価されるべきと考える。

・委員長：今回はアイデアを絞りながら開催できたことが成果である。次に⑦の外部評価の確立。

・正村委員：予定どおりには進まなかったことはあったが、今後に繋がるような打ち合わせも予定されているということで、現段階ではある程度達成できたと考えて良い。

・委員長：次年度に向けて検討している部分もあるので、今年度はある程度の取り組みが出来たということでまとめたい。

・委員長：活性化策については一定の確認をしてきた。次年度の活性化策については、後日別途協議したい。他の事業、取組みについて何かあれば。

(意見無し)

・委員長：これをもって現状の確認としていきたい。

カ 第1回議会モニター会議の振り返りについて

資料6

・委員長：本日は両委員長から区分整理をしていただき報告いただきたい。

・立川委員：両委員長で協議のうえ、資料の通りの区分とした。今後の対応については各常任委員会で協議をするものとしている。一部、両委員会にまたがる意見については、取り扱いは両委員会で協議していきたい。

・委員長：各常任委員会で調査を進めていただきたい。出来れば年度内にある程度調査を進めて、引継ぎを願いたい。

キ 読みたくなる議会だよりについて

資料7

- ・渡辺委員：常通委員、中村委員と共に意見のまとめ作業を行ったもの。目的は「読みたくなる議会だよりにするために」としている。月1回発行、年間ページ数、部数、表紙の子どもの写真、新たな委員会は設置しないことは継続。改善策として①から⑤までの5項目を挙げた。資料説明。
- ・委員長：本日は一定の整理をして次回の全協に提案したいと考える。まず、継続事項の確認であるが、この点について意見は。
(意見無し)
- ・委員長：継続事項はこの案のとおりとする。次に改善策①について。
- ・鈴木委員：改善策の①は非常に大事なこと。編集後記以外の委員の参加したうえでの編集後記にもなる。きちんと携わったうえでの編集後記である。委員会でのページの充実を各委員会が行ったうえで、携わったうえでの編集後記への参加。
- ・正村委員：確認である。議運委員以外の参加ということであるが、将来展望に特別委員会の設置がある。議運の編集担当ではなく、議運委員以外の委員が関わっての編集ということなのか、編集後記という限られたところに対するものか。
- ・渡辺委員：まさに改善策の①はもっとも重要な点。各常任委員会が、各ページ、どのようなものを伝えていくのか責任をもって伝えようということが重要。記事や視点の持ち寄りで行う。委員会ページの充実というところに全委員が参加する。
- ・常通委員：将来展望の特別委員会については、全員もありえるし、委員を選出しての設置もある。そこに至るまでには時間も必要。広報だけもあるし、広報広聴もありえる。十分な議論は必要。前段として、議運以外の委員にも関わりをもっていただき、多くの視点をもって編集することが良いのではということである。
- ・正村委員：各常任委員会が責任を持って委員会ページを作成していくということ、これは理解をする。それがあからこそ、編集後記に議運以外の委員が参加、執筆できると思う。議会だより全体としてみたときの編集のあり方と委員会ページは区分すべきと思うが。
- ・渡辺委員：担当委員会は記載のとおり、期間で分けるなどして、その担当委員会が議会だより全体の責任を持つ、委員会ページはそれぞれ毎月でと。
- ・委員長：全議員が関わるために、期間を設定して担当委員会とするということであった。すべての議員が参画することが大きなテーマかと。
- ・正村委員：4との関係は理解。事務局との連携、役割分担が非常に重要。委員会ページは委員会が責任を持ち、その他のページはこれまでどおりということか。
- ・常通委員：議運の担当が事務局とのやり取りをしながら発行までいっているが、今後は、議運以外の委員にも関わりをもって進めるというイメージ。
- ・中村委員：事務局との連携は非常に重要。委員会の記事のイメージや記載内容もあるだろうし、連携をしっかりとっていくことは必要。事務局として考えるポイントもあるだろうし。委員会内の担当を決めるのは委員会であろうが、現実的には今の議運の委員が中心になるかもしれないが。
- ・委員長：発行責任者が議長であることは変わらない。議運が編集担当であることも。議会だよりについては、企画、編集を担当委員会制にしていくという提案。
- ・正村委員：各委員会制ということであると、常任委員会のページとの調整の問題が

出てくるだろう。そうしたところも、担当の委員会が調整をしていくことになるのか。

- ・常通委員：最終的な編集会議は議運の場になるので、意見交換しながらできるのではないか。
- ・委員長：今まで同様の部分と、委員会が企画、立案、編集をする部分という認識になるか。
- ・渡辺委員：発行・編集の責任は議運であるが、編集作業に他の委員にも参加していただくイメージ。委員会ページは各委員会で編集。発行責任は議運で。
- ・正村委員：議運委員以外の参加ということは、全協での説明でもイメージしづらいことがあるだろう。委員が何をすべきなのかというところを、しっかりと説明をしなくてはならないと思うが。
- ・渡辺委員：より分かり易い説明は必要。議会だよりが有効ツールであることは、全議員が理解しているので、具体的な部分は丁寧に説明していくことにしたい。
- ・正村委員：委員会ページの充実について。各委員会が内容も検討して何を載せるのかということも含めていくのか。また月によってページ数が変わるが、そのあたりはどのように考えているのか。
- ・渡辺委員：各常任委員会の議論内容、読んでもらうための工夫を企画することは当然であるが、月ごとによってページ数、委員会活動量も異なることから柔軟に対応していければと。
- ・委員長：基本的には今回の改正案、まずはできるところからということである。議運以外の方からも意見を聴きながら、まとめていくことが必要。重要なのは、議運以外の委員にもいかに関わってもらえるかということである。
- ・正村委員：活性化にもあったが、新しい議会だよりの編集は新年度の5月以降の体制で行っていきたいということの良いのか。
- ・委員長：今年度中にまとめて、できれば5月号から出来るところから反映をしたいということである。
- ・正村委員：開始時期は了解。改善策が5点ある。連動している部分はあるが、全てのを一度に改革を進めていくことは難しいかとは思いますが、優先順位を明確にしておいてはどうかと思うが。
- ・委員長：一番重要なのは、全議員での関わり。すぐ出来るものも、そうではないものもある。
- ・立川委員：すぐに出来ること、例えば全議員が関わっていく、担当委員会の期間などは、すぐに取り掛かれるものから随時取り進めていければと。
- ・委員長：担当委員会の期間の検討について、3カ月ごとの交替制であるが、この点に意見はないか。予算審議、決算審議が同じ担当委員会になってしまうが。
- ・立川委員：基本的にはこれまでの体制を維持しながら関わる議員を増やしていくということであったかと思う。これまでも予算や決算など、大きなものは事務局が担っている。この部分、重大な審査がある月であるが、同じ委員会が担っても差し障りがないのではと考える。
- ・委員長：まずは企画、構成、編集後記だが、議員の関わりがしっかりと説明でき

ば納得いただけるのではないかと思うが。

- ・議長：これをもって全協に諮っていくことになる。改善策は議論をしているが、現状がどうかということについて、議運委員には了解をされているとは思いますが、他の議員についてはどういう状態で作成されているのかは全く分からないのではないか。編集から発行までの流れが分からない。その点、丁寧な説明ができるように進めていただきたい。
- ・委員長：議長の言われる点は、今一度確認をしていくなかで、この案を進めていかななくてはならない。改善策の①のところに、現状の編集、発行までのプロセスを示していくことを付け加えていくと、より理解が深まるのではないか。
- ・常通委員：今の意見、再度、3人で資料づくり含めて相談していきたい。
- ・委員長：場合によっては全協の前に議運委員で了解する必要もあることから、メール等で共有していければ。また、まめ通信については項目を削除していく方向で。また、将来展望については、あくまでも展望としての説明で。全体を通して共有を確認したいが、何かあれば。
(意見無し)
- ・委員長：これをもとに、23日開催を予定している全員協議会で説明をしていきたい。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・3月16日（火曜）午前9時30分

(2) その他

①一般質問の、じゃがバス広告について

その他資料1

- ・事務局長：一般質問のじゃがバス広告について資料のとおり掲載したい。
- ・渡辺委員：チラシは確認した。各議員の予定質問時間を記載すると、目安となって良いのではないか。
- ・事務局長：ご指摘の点、改善工夫をしていきたい。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和3年3月4日

議会運営委員会委員長 梶澤 幸治